



京だより

洛北幼稚園

TEL 075-491-0457
FAX 075-491-0480
-時保 075-491-0470

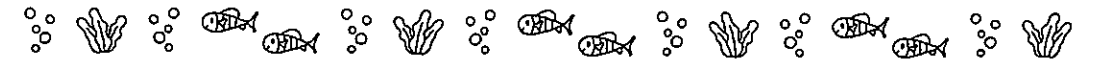
梅雨が明けると、今までには大人しかたセミが我が物顔で鳴くようになってきました。保育室ではその声に負けじと子ども達の元気な歌声が響き、プールからは、にぎやかな声が聞こえてきます。コロナ禍では、制約があった取り組みを当たり前前に出来ることを嬉しく感じています。

特にひまわり組の部屋から聞こえてくる歌「こころのこはん」の歌詞は教育的であり、人生にも繋がっているように感じます。歌詞を要約すると喜怒哀楽色々な経験が、その子の心を育てる内容です。子どもには出来れば、嬉しい事や楽しい事が多く、悲しい事や悔しい事が少ない方が良く考える事が一般的ですが、この歌では様々な経験が心を育て生きていく栄養だと書かれています。良い事があっても否定される、悪い事があっても心を軽くしてくれる関わりがあるように、子どもに与える影響は周りの人間(保護者、保育者、友達等)がどう関わるかということによって変化します。嬉しい事も楽しい事も共感してくれる相手がいれば、深く感じる事が出来、悲しい事も悔しい事もそれを分かち合ってくれる人がいるからこそ軽減され乗り越えられると思います。そのような積み重ねがあり、自然と相手の気持ちに寄り添えるようになっていくのではないのでしょうか。

子ども達は毎日友達と遊び、けんかもし、時には大人の姿を見影響を受け、共感しあえる人間関係を作り、生活しています。心を合わせてみんなでの歌が歌えるようになるように、みんなの心が繋がり、重なっていくと互いに尊重し合える平和な世界になっていくと思います。



12日(土)~16日(水) 家庭保育協力期間
21日(月)~9月1日(金) ノートILタム実習生受け入れ
25日(金) プール終了 31日 年長児退園(南部クリーンセンター)



こりす

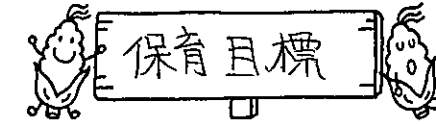
・水や寒天、絵の具など様々な感触遊びを楽しむ

りす

・水の心地良さを感じながら思い切り水遊びを楽しむ
・暑さに負けず元気に遊ぶ

うさぎ

・水の心地良さに慣れ親しみ、保育者や友達と十分に楽しむ



ちゅうりっぷ

・水遊び、プールでの遊び方を知り、思い、きり遊んでいく

たんぽぽ

・約束やルールを知り、夏ならではの遊びを十分に楽しむ

ひまわり

・様々な活動に意欲的に挑戦し達成感や満足感を味わう

・友達と遊ぶ中で決断の大切さに気づき、決断を定めて楽しく遊ぼうとする

給食室

・夏野菜をい、ばい食べよう



栽培活動

園では、今夏野菜(トマト、オクラ、ピーマン、キュウリ、枝豆)が順調に育ち収穫期を迎えています。普段は「減らして下さい」と訴えてくる子が自分で育てた野菜は食べる姿があります。

ねらひ

・保育者や友達と一緒に生長の喜び、変化、不思議さ、味を体験する
・食べるまでの過程を知る

「食べる」ことがメインだ、たことから「育てる」という部分に関わり、そのことで少しずつ食に興味を持ち始めています。今後は「調理する」や「買い物に行く」ことも体験していければ、食に関する興味関心はまた広がっていくことでしょう。ただ座っていれば、「ご飯が出てくるのではなく様々な過程(苦労や手間)を知ったり、疑問を持つことで、新しい世界が広がっていくと思います。